

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 3 年 12 月 1 日

公表 令和 4 年 1 月 13 日

事業所名 児童発達支援・放課後デイサービス Love&smile

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		環境設定を具体的に子ども達視覚から読み取れる配慮し、スペースをとっています。	
	2	職員の配置数は適切である		○	より良い療育を目指すため保育士を一人増員予定	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	玄関先はスロープがありますが、室内は車いすだと少し狭い個所がある為改善できればと検討しています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		日々の業務に対し会議で全職員で定期的に確認しています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		改善できるよう速やかに取り組むようにしています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		常にお子様の様子や環境の変化など皆様が安心できるように公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者委員会の設置には至っていませんが、連帯している学校・相談支援員・代表取締役から評価を基に業務改善を行っています。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		リタリコなど研修内容の確認や必要な資格の為青森へ研修へ参加しています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		達成目標に合わせた中間評価を行い保護者面談から職員間で話し合い課題整理をして作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		思い込みなどで判断せず子供達の状態を職員間で確認しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		個々の合わせた活動について話し合いを行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		固定化をしないよう常に気を付けています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		課題に対する設定を決めている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		週1回レクリエーションをしています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		昼会(会議)で今日の内容確認を行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		送迎から戻った職員を交え送迎時での会話や出来事も含め今日の出来事はその日のうちの対応、反省をしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		些細な事でも今後の支援につながるようパソコン入力しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		児発管を中心に管理者と話し合い子どもたちの様子から本人ニーズに合う支援なのか配慮し計画を見直し相談支援員や職員と話をしています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている		○	複数組み合わせるところまで至っていません。今後組み合わせるところまで行けるよう支援を工夫していきます。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	管理者・児発管・放課後デイサービスリーダーが参画しています	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	担任・保護者・電話、ライン、手紙等で連絡を取り変更等を正確に伝わるようにしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	現在対象の利用者はありません。	今後受け入れが可能になった場合は主治医との連絡体制を取るよう努力します。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	利用していた事業所等との共通理解は行っていないが現在利用している所とは共有しています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			現在対象者はいません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		今後連携できるよう進めていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		障害への理解を得られるよう、また、理解をして頂ければ交流したいと尾のいます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		現在行っておりません。	
保護者への説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	常に子どもの状態の変化を保護者に伝え共通理解をしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者から話を聞き機会を設け支援できるようします。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時、見学時に児発管の方から丁寧に説明しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	相談があればいつでも聞き、ニーズに合わせ助言サポートしています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	現在実行しておりません。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	苦情があればその時に速やかに対応しています。対応後、丁寧に説明をするよう心掛けています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	おたよりを出し情報発信をしています。	
	35	個人情報に十分注意している	○	書類等他に漏れることのないように鍵をかけ保管しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	具体的で丁寧な説明を心掛けています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	クリスマス近くにはサンタ号を招き近隣の方にも楽しんでいただいています。	年に1度だけなのでもう少し増やしたい。地域の皆様にも周知していただけるような行事を考えていきたいです。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		おたよりを出し情報発信をしています。	もう少し具体的にお知らせするようになります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に3回地震・火事・津波と避難訓練しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			研修機会を増やしていけるようにします。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時に説明をし、個別支援計画にも記載しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	事例集は簡単な書式で作っていました。今後明確に作成します。	今後事業所内研修を行います。